

2016 葉月の夢 南鳥島沖の深海底に眠るマンガンノジュール畑

2016年8月26日、海洋研究開発機構のプレスリリースは、深海底に広がる資源開発の夢を大きく膨らませてくれます。同機構と東京大学、千葉工業大学の研究グループが、南鳥島沖の排他的経済水域、水深5,500~5,800m深海底に広大なマンガンノジュールの密集域を発見し、コバルト、ニッケル、銅、モリブデンおよびベースメタルを多く含むマンガンノジュールとレアアース泥の分布域が相当重複するというところをも解明しました。これらは有人潜水調査船「しんかい 6500」の成果のひとつですが、今後はマリアナ海溝も探査できる「しんかい 12000」の開発、就航がいや増しに待ち遠しく感じられてきます。写真は、同機構提供のマンガンノジュール密集域の様子です。



それにしても、この写真、どこか似ていませんか、マンガンノジュール畑？ 本当に、自然の成せる業には素直に驚嘆します。(文責 アーキジオ春秋)